

## 盛地申4号「2019年3月ダイヤ改正」に関する申し入れ交渉

2019

11. 運転士のEC1組とEC2組がEC組と統合されるが、統合した根拠とメリット・デメリットを明らかにすること。

回答 E C新規養成及び勤務作成の作業性を考慮し、E C 1組、E C 2組を統合することとした。

### 組合

新規養成の視点とはなにか。

### 会社

養成にあたって定期的な組移動の発生と、審査列車によって審査時期が近づくと勤務変更が発生するという相談を受けて実施したものである。

実施後検証を踏まえ議論していくことを確認！

交番順序どおり乗務した場合、運用上ではなく乗務員勤務制度にある乗務割交番作成規定の考えをクリアできているのか。

27日交番順序で運用する場合公休、特休問題なく付与できる。改めてシステムチェックし問題ないことを確認した。

12. 山田線62行路と64行路は当初の提案行路に戻し、62行路の643Dと、64行路の647Dを持ち替えとすること。

回答 拘束時間、労働時間、出退勤時間等を総合的に勘案し、行路を作成しているところである。

### 組合

なぜ当初提案から変更となったのか。  
申し入れ案もシュミレーションしたのか。

### 会社

昨年末から今年初めにかけて盛岡運輸区の一般乗務員対象に意見集約を行ったところ持ち替えほしいという意見から、拘束時間、労働時間等がバランスとれていると判断し変更している。申し入れ案も検証し問題は無かったが比較し拘束時間のバラつきが少なく、出退勤の順序も考慮し申し入れ案も成立するが今回はこちらでやりたい。

会社案の変更になった経緯を確認しつつ、今回のやり方が今後も全てではないことを確認！

連続した乗務になってしまう事を危惧したことによる申し入れ案でもある。列車から列車の合間が無いことを危惧している。

現場から賛否があったのも現実である。間が無いとリスク管理上問題があるという弱点もある。これが絶対ではない。

実施後意見を踏まえて安全で動きやすい行路にしていきたいという考えを引き出す！

交渉議論内容を職場で確認し合い  
労働組合の必要性や組織強化・拡大へつなげよう！